

授業概要

学業の上で、そして社会人となる準備として、英語運用能力の向上を図ることは自己の可能性を広げるために重要である。本演習では、英語力に自信を持てるようになるための実践的なトレーニングを積み重ねていく。

春期は英語の基礎力を固め、秋期では専門書を理解する上での読解力や、自分の考えを英語で論述する基礎力を養う。英語を用いた研究技法の一端にもふれたい。

英語の学習は本来とても楽しいものである。英語が好きな人はもちろん、苦手だがこれから出来るようになりたいという意識のある人にも受講してもらいたい。ゲーム感覚で楽しみながら学べる方法も取り入れ、毎時間、動詞活用や文型などの必須重要項目を反復学習する。インプットした知識は発表というアウトプットを通して、生きた力となる。各授業ごとに新しい知見を得られた充実感と、手応えを実感できる内容を目指していく。

授業計画

第 1 回	ガイダンス
第 2,3 回	現在形
第 4,5 回	過去形
第 6,7 回	助動詞 will,shall
第 8,9 回	その他の助動詞
第 10,11 回	不定詞の用法
第 12,13 回	前置詞の用法
第 14 回	未来形
第 15 回	春期定期試験
第 16,17 回	完了形
第 18,19 回	分詞・動名詞
第 20,21,22 回	関係代名詞・関係副詞
第 24,25,26 回	分詞構文・仮定法
第 27,28,29 回	就職試験、資格試験対策問題
第 30 回	秋期定期試験

到達目標

義務教育段階での英語項目には、ほぼ答えられる力をつけたい。英検 3 級以上、TOEIC 400 点以上の力をつけることを目標とする。

履修上の注意及び予習・復習

授業時には必ず辞書を持参すること。勿論、ただ持っているだけではなく、未知の語句を自ら調べる姿勢が大切である。予習・復習は毎時項目を指示し、評価に含める。

☆英語は家庭学習なしでは、絶対身に付かない。i-pod からは英語を流し、ニヶ国語放送は英語で聴く習慣をつけること。洋楽が好きならば、歌詞を暗唱するのも良い。

英語力を付けるためには、生活習慣を変える意気込みで臨む必要がある。特別な理由のない欠席や遅刻は減点の対象となる。怠惰による遅刻や欠席はしないことを習慣付け、いつか社会人となる時のための土台を作ってほしい。

評価方法

定期試験 50% 課題 20% 授業に臨む姿勢（積極的に質問したか。グループワークに参加したか）20% 発表点 10%

テキスト

Basic English for College Students（弓書房）